



二学期のふり返りと三学期に向けて ～終業式で語った代表の思い～

新年明けましておめでとうございます。いよいよ2018年も幕を明け、3学期もスタートです。3年生は最後の定期テストを迎え、いよいよ入試にまっしぐらです。また、2年生は職場体験活動を直前に控え、1年生は自らが主体となって活動する大きな行事「ウォーキング」の準備が始まります。それぞれが、次への大きなステップを踏み出す大切な時期となります。

二学期終業式での代表生徒が語った発表を紹介します。代表生徒の想いを自分に照らし合わせて、決意を新たにしましょう。



失敗を恐れず、挑戦していこう 横山 海斗(3-3)

「団長がそんなんでいいのか？」

体育大会で僕は担任の高橋先生にそう言われ、とてもショックでした。確かに僕は、団員をまとめ指示をうまく出すことができていませんでした。しかし、ある程度は自分の中でやっているつもりでした。

僕は毎日のように注意されました。だんだん団長なんて辞めてしまいたいと思うようになりました。全然うまく指示が出せない上に、練習もぐだぐだでした。でもこれは、僕だけの責任なのだろうか、とても苦しい時間が過ぎていきました。

練習中、高橋先生が近くに来ました。「またダメだったか。注意されてしまう。」と考えていたら、「初めてなんだから失敗は当たり前。次のことをどうすべきか考えるのが大事なんだ。」と言ってくれました。

高橋先生の言葉は、僕に課題を与えてくれました。今まで自分のことでいっぱい、仲間のことなんて考えられませんでした。だから、何としてもこの体育大会を成功させたい、と強く感じました。それまで以上に、計画は綿密に考え、ポジティブな言葉を団員に投げかけることを心がけました。すぐに団の雰囲気は良くなり、最後には応援の部で優勝することができました。

優勝、その結果には満足しましたが、自分自身には全く納得できませんでした。それは、失敗を恐れて勝負に出ることができなかったからです。正直に言うと、体育大会が終わってからも自分自身を変えることができたとは思えません。この行事のたくさんの失敗から反省点を見つけましたが、結果的には、まだ何も変わっていません。

失敗を恐れず、挑戦していくこと。これが僕の目標です。

二学期をふり返って

僕はこの二学期をふり返って、特に印象に残っている行事があります。それは体育大会です。今年我真ん中の学年という立場で応援リーダーをやり、3年生を見習いつつ1年生に見本を見せるという大事な学年でした。少ない練習時間の中、団全員が協力し合い本番を迎えることができました。

当日は大勢の人が見ている中でとても緊張していましたが、楽しむということを忘れず全力で踊りきりました。結果発表までドキドキしていましたが、見事優勝することができとてもうれしかったです。

この体育大会の経験から学んだことが2つあ

山下 朋哉(2-5)

ります。

1つ目は、挑戦することの楽しさです。初めて「あなたが主役」に出て友達とビートボックスに挑戦しました。練習期間が短い上、途中で体調を崩してしまい焦りましたが、何とか本番前には治し、練習を再開することができました。当日は緊張で頭が真っ白になりましたが、最後まで楽しくやることができ、良い思い出となりました。

2つ目は、努力なしでは良い結果は出せないということです。体育大会の練習を最後まで必死に練習して応援優勝。部活動でもその学びを忘れず、細かいところまでこだわり、勝利をつかむことができました。

二学期をふり返って

私はこの二学期にがんばったことがたくさんあります。中でも、特に合唱コンクールの練習をがんばりました。私は指揮者だったので、家でも自主練習をたくさんしました。順調に進んでいくと思っていたのですが、そんな合唱コン練習にも大変なことがありました。

私が指揮をしながらみんなの歌声を聴いていると、ソプラノパートの子たちの声が小さく、テノール、アルトパートの子たちの声にかき消されていました。このままじゃいけない、金賞がとれないと思い、私は何か良い解決法や練習方法がないかと考え、実行委員やパートリーダーと相談しました。でも、なかなか声が大きくはなりません。声の大きさの問題が改善しないまま、あと1週間になってしまいました。

そんなある日、事件が起きてしまいました。先生から厳しく叱られてしまったのです。ものすごく悔しかったです。私は、「このままじゃ金賞なんてとれないな。」と思いました。

次の日、ソプラノパートの子たちは昨日までとは比べ物にならないくらい大きな声で歌っていて、すごくびっくりしました。それに、私はうれしくなり、指揮をしていて初めて「楽しい」と感じました。その日を境に、1組の歌声がどんどん良くなっていくのが、強く感じられました。学年のリハー

堀田 ひなた(1-1)

サルでも、1組はそれぞれのパートのハモりがどのクラスよりもきれいだと思います。この歌声ならいけるかもしれない、とちょっと自信がもてました。

本番当日、私はとてつもない緊張に飲み込まれてしまいそうでした。でも、今までやってきたことを信じて、みんなでがんばろうと自分の心に言い聞かせて出番を待ちました。

いよいよ1組の出番。「僕らの奇跡」の歌が始まりました。指揮をしながら、私はうれしくてたまりませんでした。最初の頃、声のバランスがとれていなかった3つのパートの美しいハーモニー。人数が決して多くないのにすごく大きくきれいな声を出しているソプラノ。それに負けないように正確に歌っているアルト。低温を音程正しく歌っているテノール。これまでの合唱コン練習でみんなががんばって仕上げてきた最高の歌声が響き、「僕らの奇跡」が本当に起きている。指揮をしながら、本当にそう思えて仕方ありませんでした。

結果発表のとき、1組の曲が流れた瞬間、うれしすぎて叫んでしまいました。

いろいろあったけど、ここまで頑張ってきて良かったなと思えました。また、この合唱コンを通じて、クラスのいろんな子の良いところやがんばりが見つけられて、金賞も取れて、指揮者をやって良かったと心から思いました。

冬休み中の部活動 主な成績

★サッカー U-13 碧南・高浜地区予選

予選 ○4-0 対高南中・中央中

○3-2 対碧南中

準決勝○2-1 対高浜中

決勝 ○1-1 (PK5-4) 対新川中

これにより、U-13 西三大会出場

★サッカーU-14 西三大会

一回戦 ●1-2 対梅坪台中

★バスケットボール女子

ウィンターカップ碧南高浜大会

一回戦 ○39-22 対新川中

準決勝 ○34-33 対高浜南中

決勝 ●38-50 対碧南中

★バスケットボール男子

ウィンターカップ碧南高浜大会

一回戦 ●対西端中

★バレーボール WINS CUP

●0-2 対桜井中 ●0-2 対吉良中

●0-1 対篠目中 ●1-2 対寺津中

★卓球男子 高浜碧南ジュニア団体リーグ

団体3位 5勝2敗

○対新川中 ○対中央中 ○対碧南中

●対西端中 ●対高浜中 ○対高南中

○対高浜SC

★卓球女子 2勝5敗

●対新川中 ●対中央中 ○対碧南中

●対西端中 ●対高浜中 ○対高南中

●対高浜SC

★ソフトテニス 碧南高浜インドア大会

個人戦 BEST8 入賞

女子 山田・村田ペア、内藤・宮園ペア

★吹奏楽 アンサンブルコンテスト西三河南地区大会

金賞 クラリネット四重奏 県大会出場

銀賞 管打八重奏